

## 屋久島生態系モニタリング

### 屋久島南部植生垂直分布調査 (平成15年度調査)

・湯泊歩道沿い(標高1200m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、沢部右岸の緩～急斜面である。プロットの南側は、いくつかの岩を経て小尾根になっている。小沢を挟んだ林道沿いには水道施設がある。

プロットの階層別植生は、高木層では、全体として植被率が低くなっている。おもな出現樹種は、シマサルスベリ・ヤクシマオナガカエデ・エゴノキ・バリバリノキで、個体数は少ないがハマセンダン・フカノキ・ヤクシマカラスザンショウも混生する。

亜高木層では、ハドノキが最も多く、ついでモクダチバナ・イヌビワ・アオガシの個体数が多い。他にはヒサカキ・シマサルスベリ・フカノキ・スタジイ・バリバリノキが生育する。個体数は少ないが、ミズバイ・ヤマビワ・イスノキなども出現する。

低木層では、モクダチバナが最も多いがバリバリノキ・ヒサカキ・ハドノキも多い。植被率は約10%と低いものの出現種数は多い。(24種)

草本層では、カツモウイデ・ヒロハノコリシダ・ホウビシダ・ヘツカンダ・リュウビンタイ・ツルホラコケ・ヌカホシクリハランなど、シダ植物が多い。シマズセンリョウ・ヤクシマアジサイ・ルリミキ・フウトウカツラ・ヒメアリドウシも個体数が多く植被率が高い。

元財上境  
有団屋省  
識者久鹿  
等屋町一  
な久島五  
り屋久日  
予の山は、  
定の大口は、  
の八にも集  
時通に島内  
り決にか合  
し行はし全  
空が文行は、  
もが杉し小  
の広文行は、  
一の空に決  
転の広文行  
小、が杉し  
雨確りにま  
模認日到し

現地確認する関係者



―十二月に大雪などで折損落下―

縄文杉の落地枝確認を  
関係者が現地確認を

樹倒れ及び樹倒れ防止の対策として、樹幹注入による防除対策を実施している。樹幹注入は、樹幹の中心部に薬剤を注入し、腐朽菌の繁殖を抑制する効果がある。また、樹幹の断面を保護し、腐朽菌の侵入を防ぐことも重要である。

## ヤクダネゴヨウの保全活動について



落下した縄文杉の枝

現地に発生した倒木は、樹幹の中心部に腐朽菌の繁殖を抑制する効果がある。また、樹幹の断面を保護し、腐朽菌の侵入を防ぐことも重要である。倒木は、樹幹の中心部に腐朽菌の繁殖を抑制する効果がある。また、樹幹の断面を保護し、腐朽菌の侵入を防ぐことも重要である。



樹幹注入による防除対策

枯虫にネ  
損によゴ  
木よるヨ  
二防ウ  
五ヤ除  
本ク対  
をタ策  
専ネと  
門ゴ、  
家ヨ松  
にウく注  
よのい入

定はたの  
で、ま。通  
す三、た。行  
。月、上。行  
旬、飛。止  
に、流。二  
解、歩。三  
除、道。日  
す、を。を  
る、解。弥  
予、除。生

## 通行止め解除のお知らせ

### 屋久島の植物



シロセンダングサ (きく科)

い議ヤヨい対し指究はこ出テ木リ  
き会クウ虫策た導官森としイに伐  
たでタの被を。を金林かをアつ倒  
いはネ枯害実今頂谷総ら行にいを  
と連ゴ損に施後き整合一研実焼りは  
考携ヨがよしもな一氏究施却林後ま  
えをウ終る種こが氏究施却林後ま  
い全すク島ら実よの施り主たをらボ  
深対るタでの施り主たをらボ  
すめ策よネ松保し現任つ行運ラ伐  
て協うゴく全ま地研てうび倒



完成した弥生歩道

分大な  
気すの滑り、  
をつで、再  
け、や開  
く散す  
だ策く  
さい際、  
。に、  
は、  
十

るはン勤白cm見岸来日  
こ、ダ違ののら近し本北  
と果ンい頭茎れるくたへは米  
は実グサの直。路全江原産  
ない衣のほ咲径高傍島戸の  
よ、服のどき三、cm三、一見代  
うにつし園余〇年ら後植  
であいに芸り、中れ、物  
るてし。種、の五花、に、  
。困てセと純〇が海渡、

# 平成17年「洋上アルプス」掲載記事一覧

NO (発行年月)	大記事	小記事	屋久島生態系 モニタリング	屋久島の 植 物	お知らせ	裏 面
118 (17.1)	○永田岳登山道周辺の植生回復事業  (工事用資材をヘリで現地搬入完了、工事は翌年度実施)	○高塚小屋周辺の植生回復事業  ○ボランティア清掃を実施(白谷雲水峡)	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・高塚ヒノキ天然林(標高1,330m地点)⑦	ウスベニニガナ(きく科)		らくがき帳(白谷雲水峡編)
119 (17.2)	○ヤクシマシャクナゲ情報  (驚きの着蕾、開花シーズンを待望)	○伊藤鹿児島県知事「知事と語る会」で来島ヤクシラント視察 ○屋久島7年ぶりの大雪で2度目の閉鎖(ヤクシラント・白谷雲水峡)	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・夫婦杉周辺(標高1,240m地点)	アマクサギ(くまつづら科)		・平成16年「洋上アルプス」掲載一覧
120 (17.3)	○屋久島環境学習ネットワーク会議開催  (平成16年度、第2回会議が2月15日開催される)	○高塚小屋周辺の植生回復事業実施状況  ○兵庫県関係者が屋久島視察	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・高塚小屋周辺(標高1,350m地点)	キラソウ(しそ科)		・保護林調査報告書リスト
121 (17.4)	○ヤクタネゴヨウの保護ボランティア活動  (「民・国連携した保護活動」を、3月19日種子島で実施)	○屋久島地区エコツーリズム推進協議会の臨時協議会を開催 ○ヤクタネゴヨウ見本林及び採種林の造成に関する覚書」を締結	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・新高塚小屋周辺(標高1,470m地点)	イワニガナ(きく科)	保全センター人の動き(4月1日付け)	・第2回山岳部利用対策協議会1協議事項2ゴールデンウィーク期間中の車両乗り入れ禁止
122 (17.5)	○登山道等整備に関する現地調査の実施  (環境省の呼びかけで関係機関が参加)	○平成16年度協力金の公表について  ○縄文杉展望デッキ標示区分の塗り替え	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・第1展望台周辺(標高1,560m地点)	スジヒツバ(すじひとつば科)		・保全センター平成17年度の業務予定
123 (17.6)	○縄文杉の樹皮が剥がされる(悪質な行為として、犯人やキズに関する情報を求めています。)	○樹皮剥離被害の修復措置の考え方	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・第2展望台周辺(標高1,640m地点)	コヤマカタハミ(かたばみ科)		・GW期間中における縄文杉登山者数外
124 (17.7)	○奥岳にシャクナゲ詣で  (天候にも恵まれ満開のシャクナゲを満喫)	○平成16年度屋久島エコツーリズム推進検討会の開催  ○JICA研修生がカウンターパート研修で訪問	大王杉付近から宮之浦岳山頂における植生垂直分布調査(平成14年度調査) ・平石周辺(標高1,700m地点)	ヤクシマショウマ(ゆきのした科)		・屋久島自然休養林への入場者数の推移
125 (17.8)	○縄文杉の樹皮剥離被害箇所の第1回目点検を実施  (木材腐朽菌侵入等の異常は認められず)	○屋久島自然休養林保護管理協議会総会の開催  ○白谷雲水峡の登山道補修勉強会開催	屋久島南部植生垂直分布調査(平成15年度調査) ・大川の滝風景林(標高5m地点)	ツクセリ(せり科)		・平成16年雨量観測データ
126 (17.9)	○松くい虫被害対策専門家会議の開催  (「住民と行政の連携による森林づくり」ヤクタネゴヨウの松食い虫被害を防げ)	○鹿児島大学生の企業体験研修を実施 ○屋久島環境学習ネットワーク会議開催される	屋久島南部植生垂直分布調査(平成15年度調査) ・田代ヶ浜風景林(標高5m地点)	チャホ・ホトキス(ゆり科)		・夏休み期間中の自然休養林の利用状況
127 (17.10)	○縄文杉の樹皮剥離被害箇所の第2回目点検を実施  (木材腐朽菌侵入等の異常は認められず)	○永田岳登山道周辺の植生回復事業  ○下記森林ハトールを実施	屋久島南部植生垂直分布調査(平成15年度調査) ・湯泊林道沿い(標高200m地点)	ヤクシマヒトリ(きく科)		・らくがき帳(ヤクシラント編)
128 (17.11)	○調査研究成果の地元説明会開催 (ヤクシ・ヤクタネゴヨウ環境省支援プロジェクト)	○白谷雲水峡観察道の補修工事実施中 ○静岡県立農林大学生11名が屋久島の森林を視察	屋久島南部植生垂直分布調査(平成15年度調査) ・湯泊林道沿い(標高400m地点)	ヘツカリドウ(りんどう科)		・生態系保護地域への入林状
129 (17.12)	○ヤクタネゴヨウ見本林・採種林の刈り払い  (約30名のボランティアが参加)	○森林生態系モニタリング調査を実施 ○JICA研修生を受け入れ	屋久島南部植生垂直分布調査(平成15年度調査) ・湯泊林道沿い(標高600m地点)	キタチチヨウセンアサガオ(なす科)		・屋久島自然休養林アンケート